

梅津 碧

うめつ みどり

声楽（ソプラノ）

山形県出身 東京都在住

【所属マネジメント】
コンサートイマジジ

住所：〒162-0802 東京都新宿区改代町 35
TEL：03-3235-7772 FAX：03-3235-3855
担当：神崎 なつめ、小崎 紘一
E-mail：kanzaki@concert.co.jp



やってみたいアクティビティとコンサート

「どうしてオペラ歌手はポップスなどと違った独特な歌い方をするの？」声楽になじみのない人ならそう疑問に思う方は多いと思います。私も音楽の授業で声楽の作品をビデオで見た時に、なんだか不自然な歌い方だなあと感じてしまい、自分とは関係のない遠い世界の物のような気がしてしまったのを覚えています。でも生の演奏を聴いた時にあまりの衝撃で声楽の道に進んでしまい、人生が変わってしまいました。オペラ歌手はどうしてこういう歌い方をするのか疑問を解き明かすことで、オペラを身近に感じてもらいたいです。

それぞれの楽器にそれぞれの良さがありますが、歌が一番、録音と生の差が大きいように思います。生の演奏を聴いてもらって、歌のかっこよさ、おもしろさをたくさんの人に伝えていきたいです。

歌詞の意味を考えて、みんなが知っている歌と一緒に歌ったり、声楽家の体がどんな風に動くか体を触ってもらったり一緒に体験するようなアウトリーチをしています。

自己PR

今活躍している音楽家の多くは子供の頃から音楽をやっていた人が多いのではないかと思います。私は音楽に出会ったのが遅く、大学生の時に生まれて初めて生のオペラを観たことをきっかけに声楽をはじめました。もちろん学校の音楽の授業で録音でオペラ歌手の歌声を聞いたことはありましたが、初めて聴いた生のオペラの衝撃は今でも忘れられません。自分自身がこう言った特殊なきっかけで歌をはじめたので、どんなことがきっかけになって人生が変わるか誰にもわからないので、いろんなことにアンテナを貼って挑戦してほしい、ということをお話するようにしています。

また音楽をはじめたのが遅かったからこそ、アウトリーチやコンサートで触れ合う方々と近い感覚でお話したり、プログラミングをすることができるとお話しします。おんかつのコンサートに来てくださった、音楽に今まで馴染みがあまりなかった人にも、オペラを全幕観てみたくなった！と言っていた方が多いです。

コロナでアウトリーチが中止になった時はリモートで対応をしたり、ウクレレの弾き語りができるのでピアノがない場所でのアウトリーチなど、様々な状況に柔軟に対応していきます！純粋に歌が大好きなので、その魅力を少しでも多くの人に伝えたいです！

PROFILE

山形県長井市出身。青山学院大学文学部英米文学科卒業。大学在学中に声楽に転向。東京音楽大学声楽演奏家コースを首席卒業。卒業演奏会、第83回読売新人演奏会に出演。ウィーン、ブライナー音楽院を審査員 満場一致の首席修了。ウィーン国立音楽大学大学院オペラ科修了。声楽を、羽山弘子、篠崎義昭、高橋淳、Ralf Döring、Yayoi Döring、Rainer Trost、各氏に師事。2023年第3回イブラ・グランド・アワード・ジャパン声楽部門第一位。これまでに国内外のオペラに多数出演。『ラクメ』タイトルロール、『アラベラ』フィアカーミリ、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『劇場支配人』マダムヘルツ、『ゼッキンゲンのトランペット吹き』若い娘、『泣いた赤鬼』ナレーター・娘、『アドリアーナ・ルクヴール』ジュヴノ、『ドンバスクワレ』ノリーナ、『優雅なインドの国々』エベ、『美しきガラテ』ガラテ、『キングアーサー』フィリデル・彼女、『サンドリヨン』妖精など。オーストリアやイタリアをは

じめ海外でも数々のコンサートに出演。ミュージカル曲などクロスオーバーにも定評がある。

国内では山形交響楽団、群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、静岡交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、東京交響楽団と共演。

東京オペラ・プロデュース主催『ラインの妖精』で主役のアルムガート役、『ロミオとジュリエット』ジュリエット役を務める。東京文化会館主催「シアター・デビュー・プログラム」による音楽劇『シミグダリ氏または麦粉の殿』《新制作》で主役のイリヤ姫を演じるなど、活躍の幅を広げている。

2021年、オクタヴィア・レコードよりデビュー・アルバム「Märchen」をリリース。山形大学医学部非常勤講師。